【Report Manager】

取扱説明書

著作権について

「Report Manager 取扱説明書」（以下、本書と表記します。）は、著作権法により保護されています。本書の取り扱いについては、下記の点にご注意下さい。

本書の著作権は、「フォレックストレーディングラボラトリー」（以降 FTL）にあります。本書のすべての内容は、日本の著作権法、及び国際条約によって保護されています。「FTL」が、事前に書面をもって許可した場合を除き、本書の一部、または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用、転載、転売することを固く禁じます。著作権の侵害につきましては、著作権法第１１９条などの罰則がありますのでご注意下さい。

第１１９条　次の各号のいずれかに該当する者は、５年以下の懲役若しくは５００万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する。

著作者人格権、著作権、出版権、実演家人格権又は著作隣接権を侵害した者（第３０条第１項（第１０２条第１項において準用する場合を含む。）に定める私的使用の目的をもって自ら著作物若しくは実演等の複製を行った者、第１１３条第３項の規定により著作者人格権、著作権、実演家人格権若しくは著作隣接権（同条第４項の規定により著作隣接権とみなされる権利を含む。第１２０条の２第３号において同じ。）を侵害する行為とみなされる行為を行った者、または第１１３条第５項の規定により著作権若しくは著作隣接権を侵害する行為とみなされる行為を行った者を除く。）営利を目的として、第３０条第１項第１号に規定する自動複製機器を著作権、出版権または著作隣接権の侵害となる著作物または実演等の複製に使用させた者。

本書の使用に関する同意書

本同意書は、本書を入手した個人または法人（以下、甲と称す）と「FTL」（以下、乙と称す）との間で、本書の使用に関する一切の関係に適用します。 本書を甲が受け取り、パッケージを開封した場合には、本同意書に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。

第１条　（本同意書の目的）

甲は、本同意書に基づき、乙が著作権を有する本書に含まれる情報を使用することができます。

第２条　（知的財産侵害の禁止）

甲は、本書に関するすべての知的財産権が乙に帰属することを承諾し、その権利を侵害しないことを約束します。甲は、乙の書面による事前許可が得られない場合は、以下の行為を行ってはいけません。特に本書を他者に貸与、譲渡、販売、公開することを固く禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社及び関連組織（販売店、代理店等）においてのみ、本書に関する情報を使用できるものとします。

本書、複製、転写、転載、改ざん、部分使用、及び転売行為

本書、内容の一部または全部に関する出版、講演、広報活動

本書、内容に関して取材を受ける行為

本書、内容に関して不特定多数人に告知する行為

その他、前各号に該当するおそれのある行為、またはこれに類する行為

第３条　（損害賠償）

甲が本同意書の第２条に違反した場合、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と乙が定める価格を乗じたものの１０倍の金額を払うものとします。また、甲が本同意書に反した行為、または不正、違法な行為によって乙に損害を与えた場合は、甲は乙に対し損害賠償の請求を行うことができるものとします。

第４条　（責任の範囲）

乙は、甲に対し、本書の情報の使用により発生した一切の損害について責任を負わないものとし、損害賠償の義務もないものとします。

第５条　（本同意書の変更）

乙は、本同意書の内容をいつでも変更、追加、削除できるものとし、文書、電子メールによるお知らせなど乙が適当と考える方法により甲に通知します。本同意書の内容の変更がなされたことの通知を甲が受け取った後に、甲が本書の使用を継続する場合は、本同意書の変更を承諾したものとみなします。

第６条　（裁判管轄）

本同意書に関して訴訟の必要が生じた場合には、乙の所在地を管轄する地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

－ 目 次 －

1. Report Managerとは？
2. インストールの方法
3. 使用方法
4. メイン画面の説明
5. オプションの説明
6. 使用上の注意点
7. 最後に

1. Report Manager とは？

Report Manager は「MQLsoft.com」という海外サイトで配布されているツールになります。
以下のリンクが公式ページになりますので、詳しくはこちらをご覧ください。

・MQLsoft.com
http://www.mqlsoft.com/home

※注意

FTL で作成致しましたのは本書のみとなります。
「Report Manager」は FTL で製作したツールではございませんので、サポートは致しかねます。
もし、質問やご意見などございましたら公式 HP に連絡先とお問い合わせフォームがございますので、そちらから問い合わせ下さい。

Report Manager の特徴

MT4 ではバックテストをする時は、１つの EA・１つ通貨・１つの期間でしかバックテスト結果を見ることしかできません。つまり、複数の EA や複数の通貨などでポートフォリオを組んで運用を考えている場合は、総利益やドローダウンなどを確認したい場合は Excel などの表計算ソフトでバックテスト結果を１つにまとめ、自分で総利益やドローダウンを計算し直さなければなりません。

しかし、Report Manager は MT4 のバックテストで生成された、複数の取引結果を１つにまとめ、さらに、MT4 と同じように総利益やドローダウンを計算し直してくれる、とても便利なツールになります。

2. インストールの方法

Report Manager のインストールの前に

Report Manager を使用するには Java のプラグインが必要となります。
以下のリンクからインストールしてください。

・Java7
http://java.com/

Report Manager のダウンロード

Report Manager は以下のリンクからダウンロードできます。
「report.manager.1.3.0-installer.exe」というファイル名でダウンロードされます。

・Report Manager v1.3.0
http://www.mqlsoft.com/system/files/report.manager.1.3.0-installer.exe

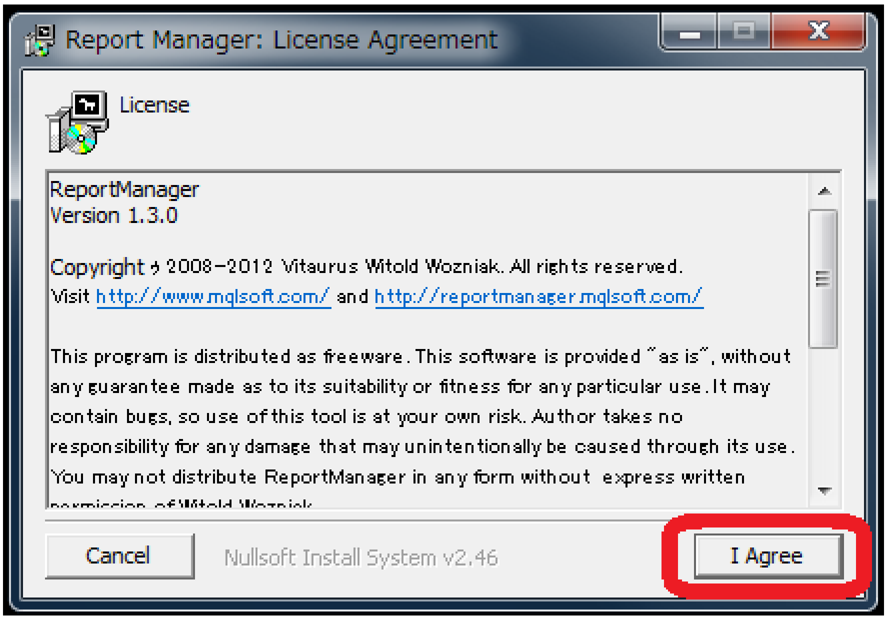
※注意
Windows7 の 64bit 版では Report Manager v1.3.0 がインストールできない可能性がございます。
もし、インストールできなかった際は以下のリンクから Report Manager v1.2.0 をダウンロードしてください。

・Report Manager v1.2.0
http://ftlabo.com/doc/report.manager.1.2.0-installer.exe

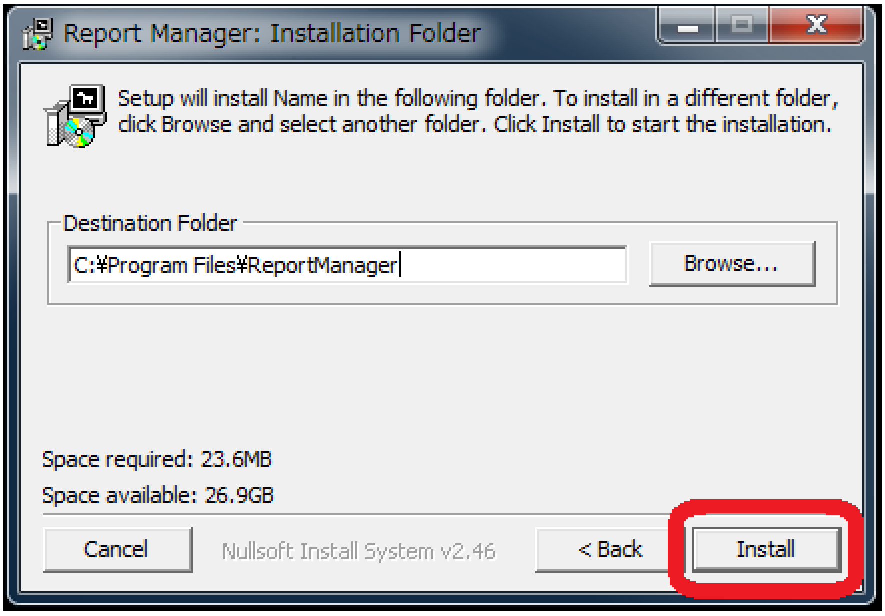
Report Manager のインストール

1.ダウンロードしてきた「report.manager.1.3.0-installer.exe」をダブルクリックしてください。

2.以下の画面になりましたら。「I Agree」をクリックしてください。

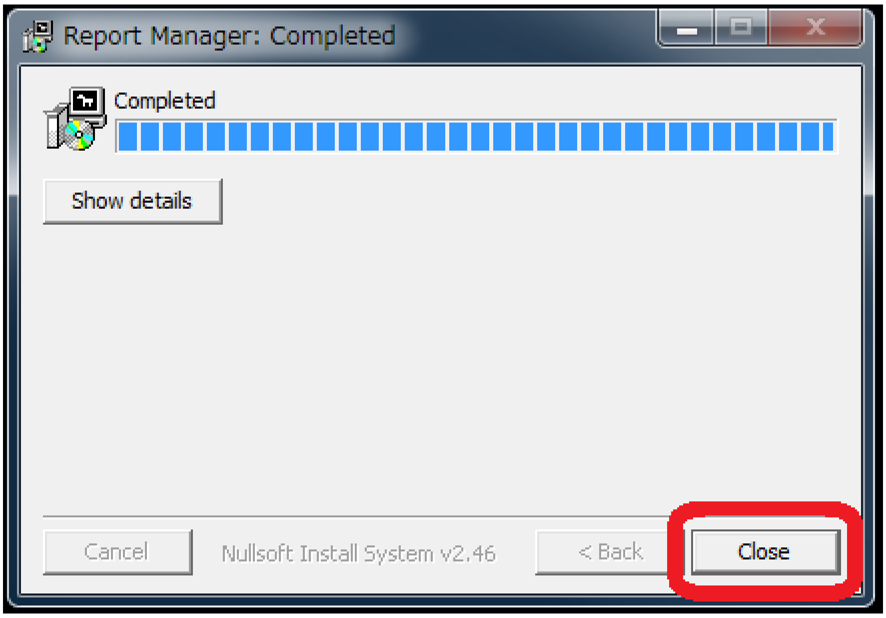


3. 以下の画面になりましたら。「Install」をクリックしてください。



※インストールできない場合は、「Browse...」をクリックし、「Program Files」以外のファイルを指定してください。

4.以下の画面になりましたらインストールは完了です。「Close」をクリックしてください。



3. 使用方法

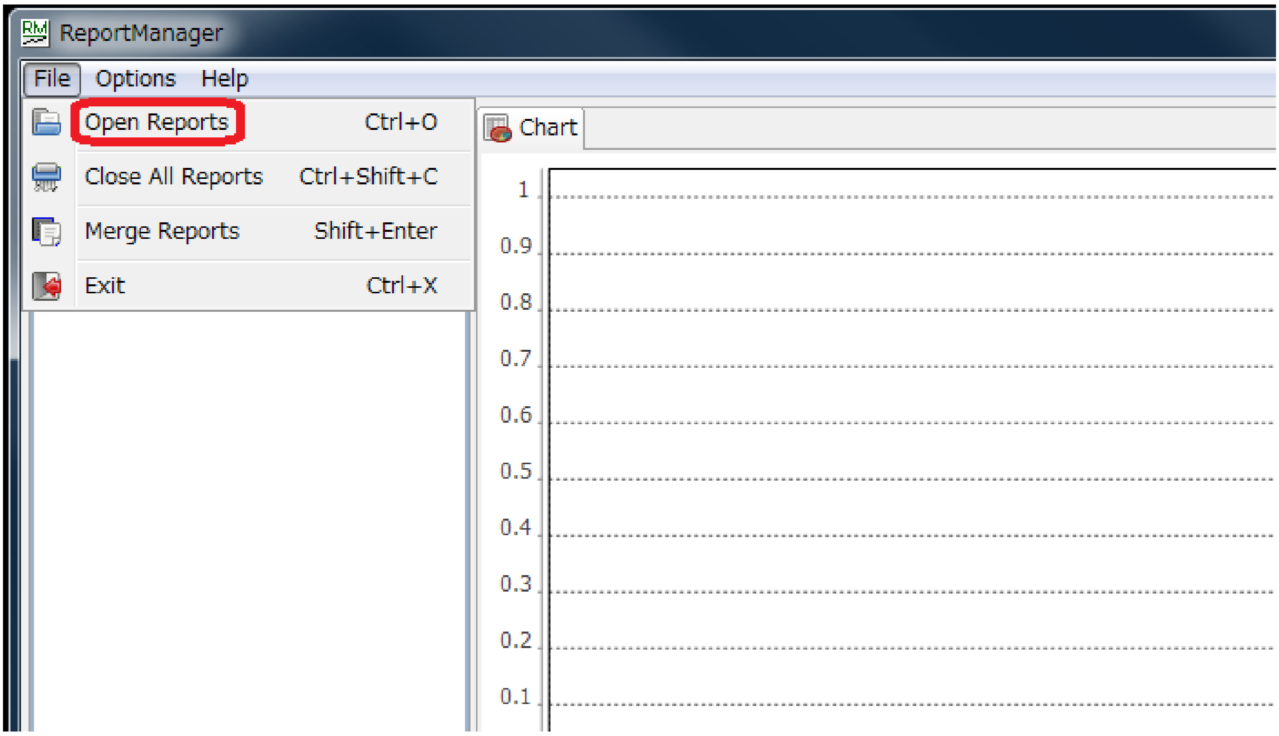
Report Manager の起動

Report Manager はインストールしてもデスクトップ上にショートカットは生成されません。
画面左下にあるタスクバーの「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Report Manager」
にある「Report Manager」のショートカットから起動してください。

まとめるバックテスト結果の指定

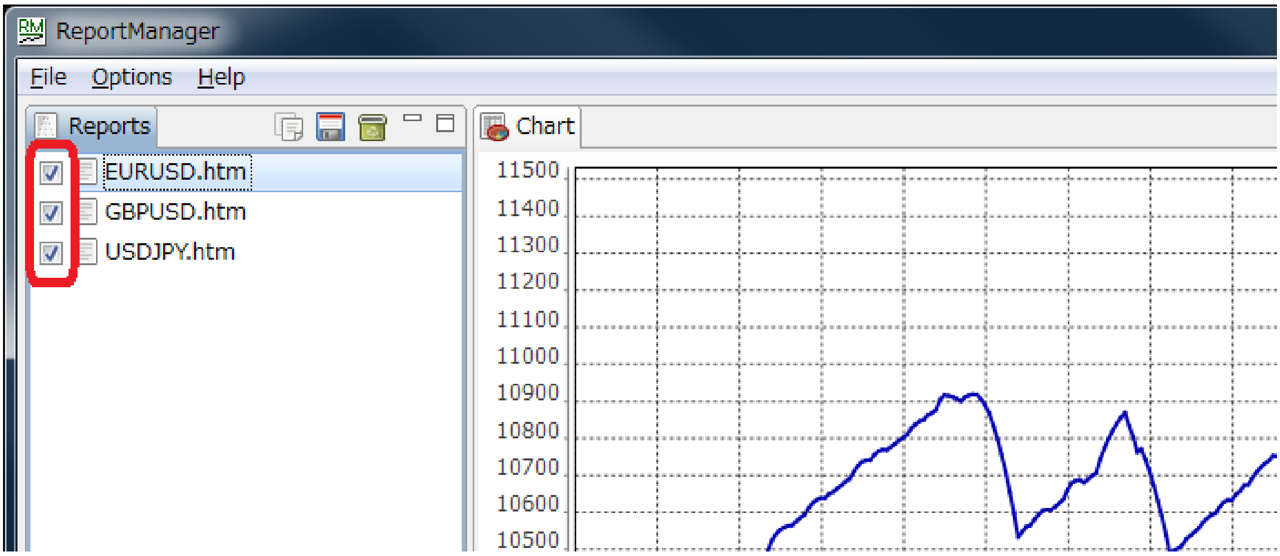
1.左上にある「File」をクリック

2.その中にある「Open Reports」をクリック。ここから、バックテスト結果を開くことができます。htm 形式のまとめたいバックテスト結果を全て開いてください。また、指定する際に Ctrl キーを押しながら指定すると複数の結果を 1 度に開くことができます。

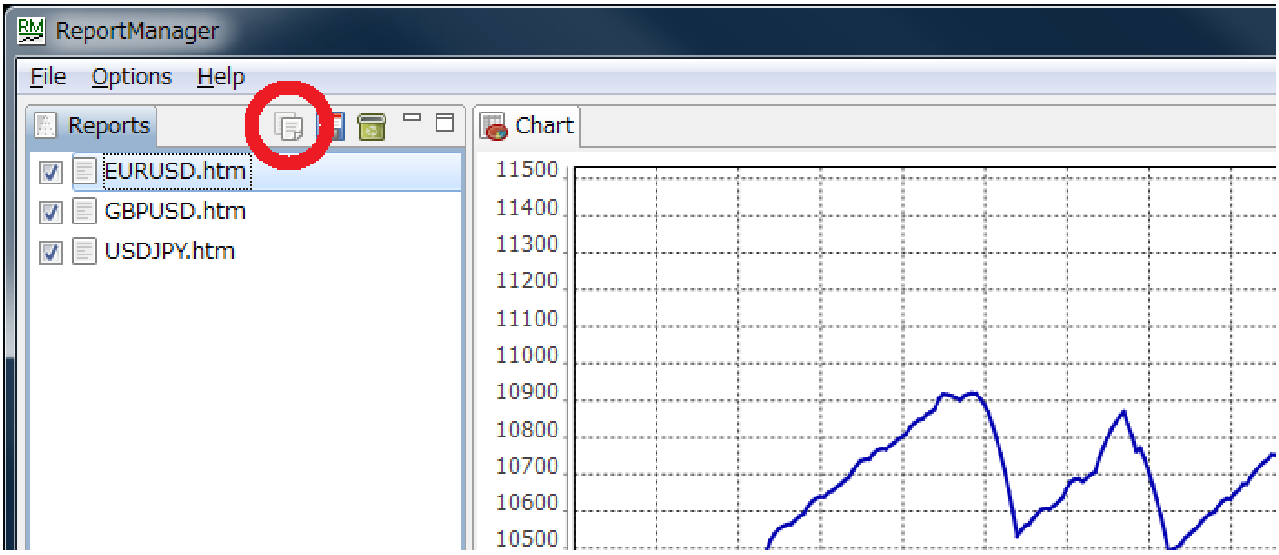


バックテスト結果をまとめる

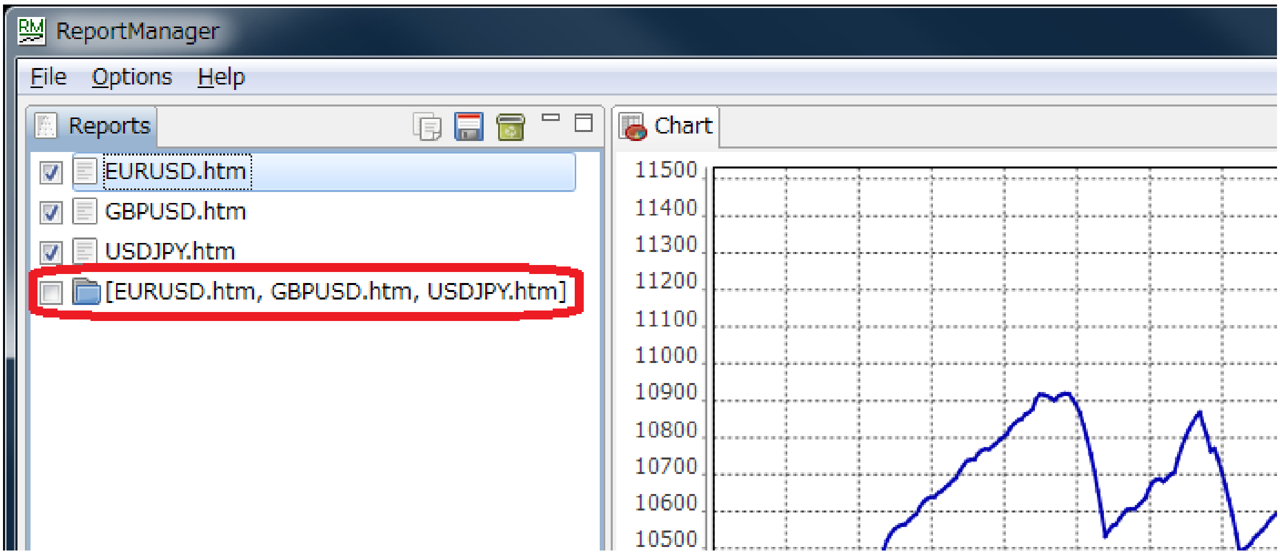
1.開いたバックテスト結果の中でさらにどの結果をまとめるかをチェックボックスで指定することができます。まとめたいバックテスト結果にチェックが入っているか確認してください。



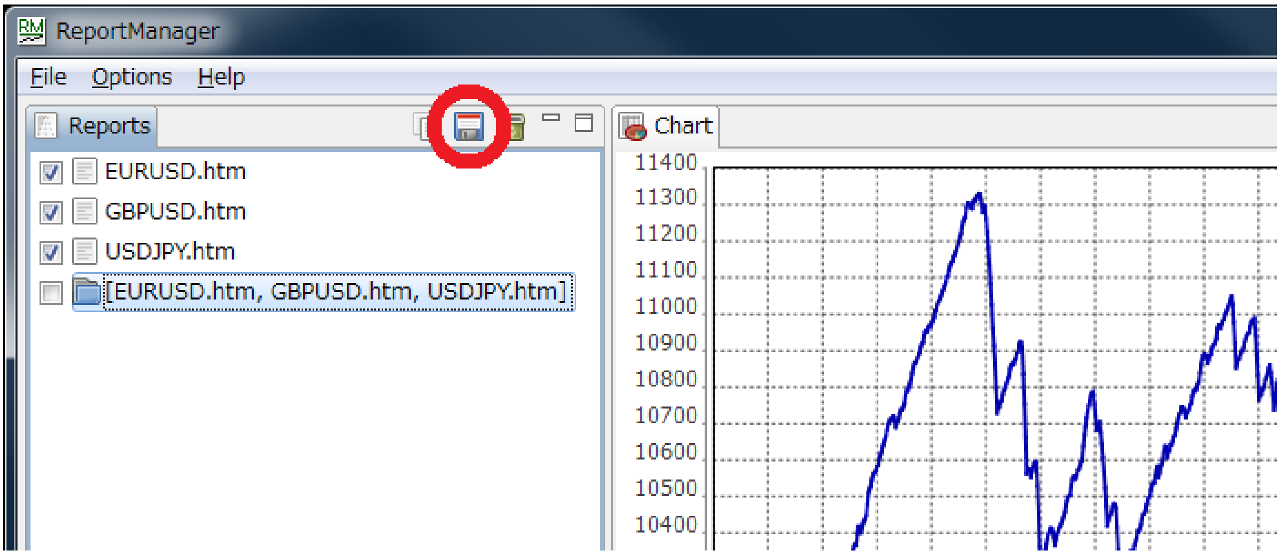
2.「Merge Repots」のアイコンをクリックしてください。



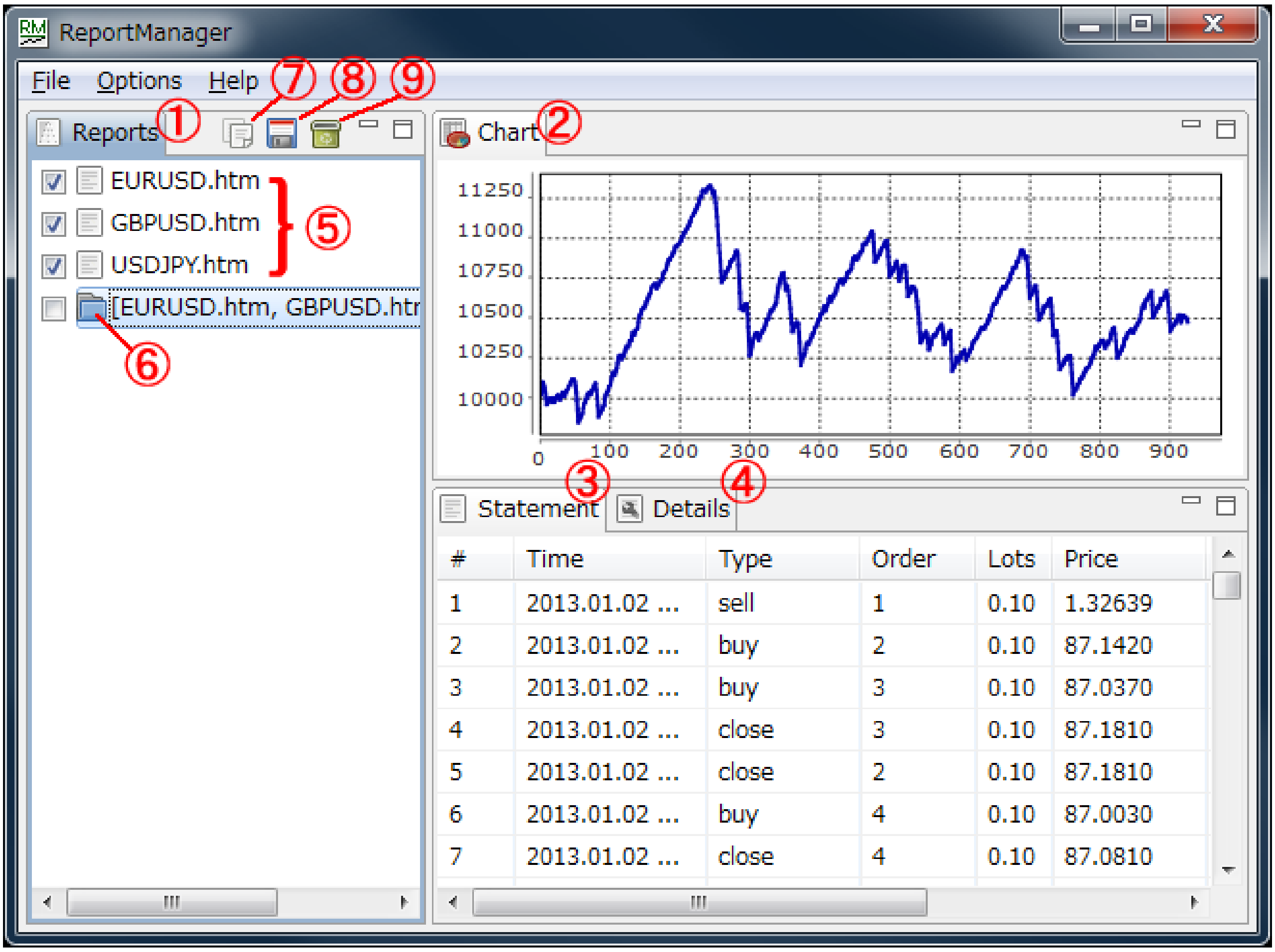
3.新たにまとめられたバックテスト結果が作成されます。クリックすることで画面右側の「Chart」や「Statement」などでまとめられた結果の確認もできます。



4.現時点ではまだ、まとめられたバックテスト結果は保存されていません。新たに作成されたバックテスト結果をクリックし、青く指定された状態で「Save Selected Report」のアイコンをクリックしてください。これで、まとめられたバックテスト結果が htm 形式で保存されます。なお、htm ファイルの他にも取引結果が csv 形式で保存されます。



4. メイン画面の説明



① **Reports**： 開いたバックテスト結果・結合されたバックテスト結果が表示されます。

② **Chart**：Reports で指定されたバックテスト結果のバランスチャートを確認することができます。また、チャート上で左上から右下にカーソルをドラッグすることで、その箇所をズームすることができます。逆に右下から左上にカーソルをドラッグすることでズームアウトすることができます。

③ **Statement**：Reports で指定されたバックテスト結果の時系列ごとに並べられた取引結果を確認することができます。※Type ごとなどに並べ替えることはできません。

④ **Details**：Reports で指定されたバックテスト結果における分析結果を確認することができます。

⑤ **○○.htm**： 開かれたバックテスト結果。

⑥ **[○○.htm, ･･･ ○○.htm]**： 結合されたバックテスト結果。

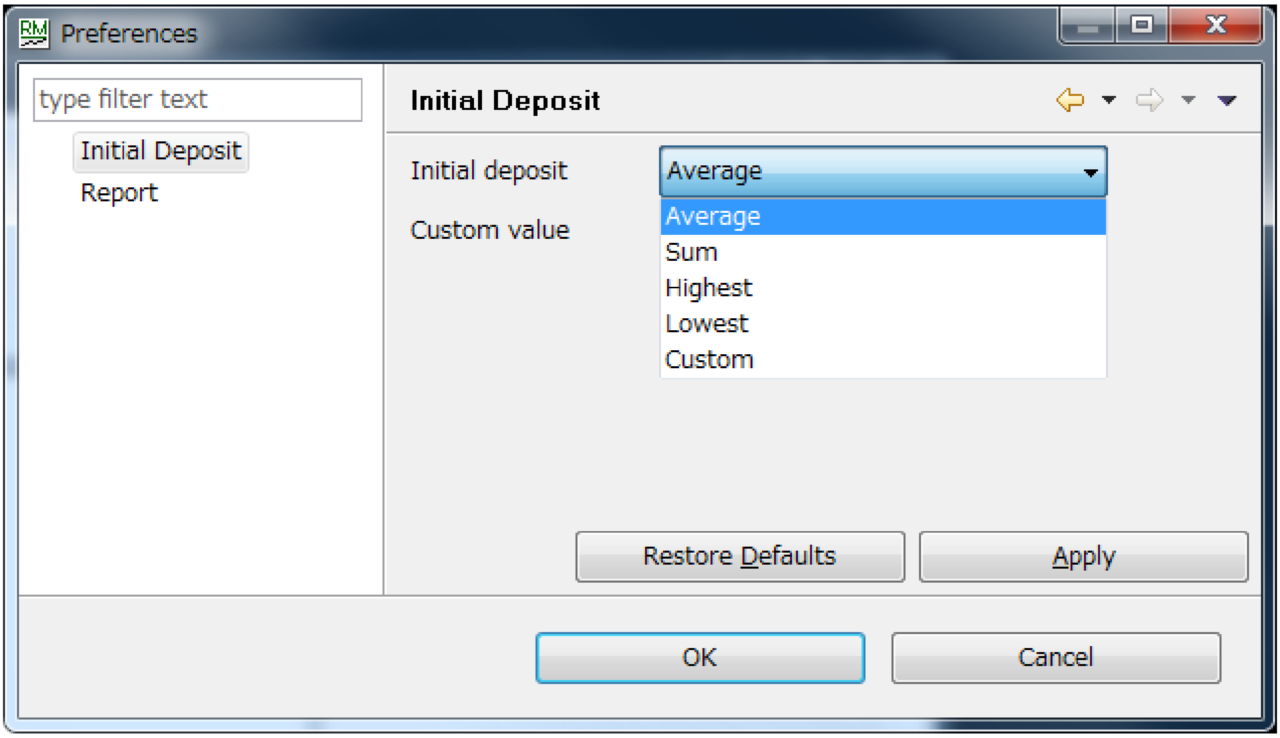
⑦ **Merge Reports**：Reports でチェックされているバックテスト結果を結合する。

⑧ **Save Selected Report**：Reports で指定されているバックテスト結果を保存する。

⑨ **Delete Save Selected Report**：Reports で指定されているバックテスト結果を削除する。

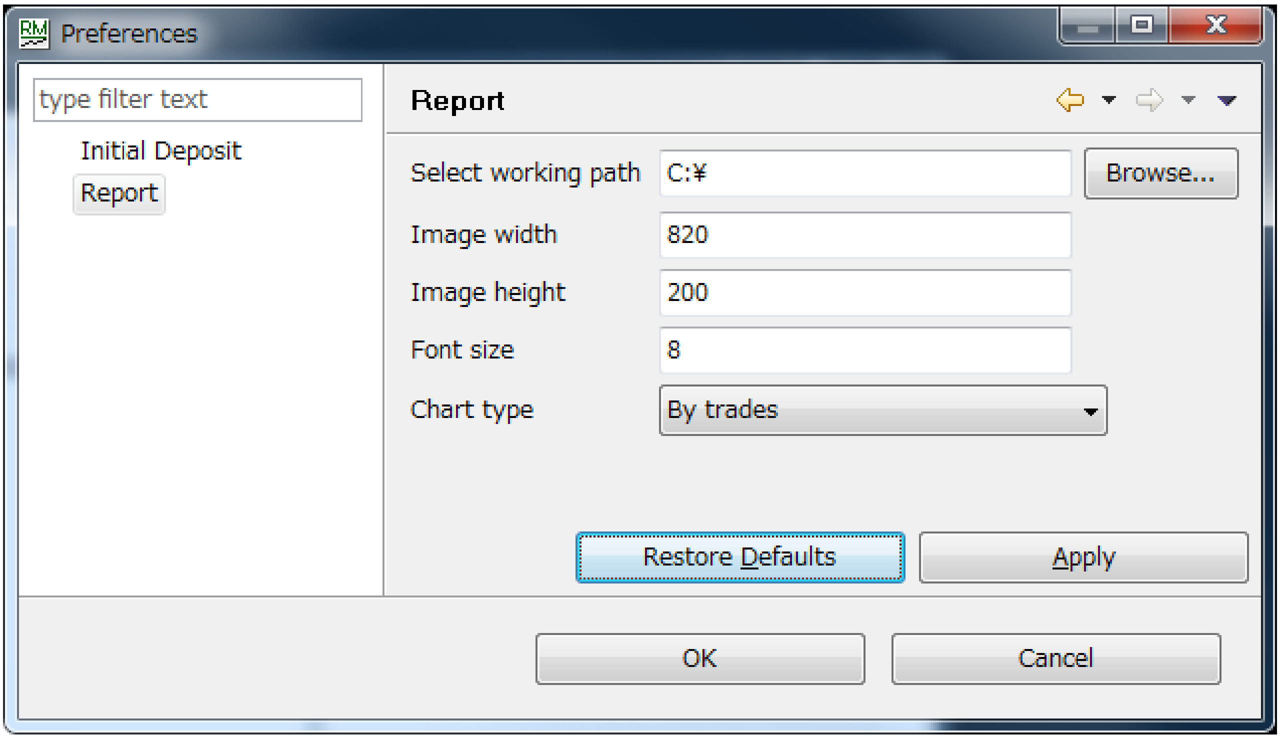
5. オプションの説明

・Initial Deposit



Average： 各バックテスト結果の初期資金額の平均を結合する際の初期資金額とします。
Sum： 各バックテスト結果の初期資金額の合計を結合する際の初期資金額とします。
Highest： 各バックテスト結果の内、初期資金額が一番高いものを結合する際の初期資金額とします。
Lowest： 各バックテスト結果の内、初期資金額が一番低いものを結合する際の初期資金額とします。
Custom：「Custom value」で指定された数値を結合する際の初期資金額とします。

・Report



Select working path：Save Selected Report でバックテスト結果を保存する際のパスを指定します。
Image width： バックテスト結果を保存する際のチャート画像の横サイズを指定します。
Image height： バックテスト結果を保存する際のチャート画像の縦サイズを指定します。
Font size： バックテスト結果を保存する際のフォントサイズを指定します。
Chart type(By trades)： メイン画面「Chart」の横軸をトレード回数単位にします。
Chart type(By dates)： メイン画面「Chart」の横軸を時間軸単位にします。

6. 使用上の注意点

ドローダウンの計算結果

MT4 ではドローダウンの計算に含み損も考慮されていますが、Report Manager では含み損は含まれない損益のみでドローダウンを計算しているため、ナンピンを使用しているような EA のバックテスト結果をまとめた場合、ドローダウンの数値が元の結果より小さくなる場合もありますのでご注意ください。

用意するバックテスト結果は単利で

Report Manager では各バックテスト結果を時系列にまとめるだけですので、同じ口座での運用を前提とした場合、複利のようなその時々の資金によって、ロット数が変わっているようなバックテスト結果をまとめると、損益やドローダウンなどの計算結果に大きなズレが生じますので、用意するバックテスト結果はロット数が同じで単利のものが最適です。

7．最後に

ポートフォリオを組む際に毎回手動でバックテスト結果をまとめるのに大変苦労していたところに、このようなツールを見つけたので、皆さんにもぜひ伝えたい思い、今回紹介させて頂きました。

今後もこのような便利なツールなどを見つけたら紹介していきますね！

それではここまでお読み頂きありがとうございました。